

平成 23 年度

# 環境家計簿データ分析

にはま環境市民会議

エネルギー一部会

## 平成 23 年度環境家計簿分析結果

### ◎ 全家庭の月別 CO2 排出量

平成 23 年度のモニターでデーターを回答して頂いた 37 戸の全ての家庭のエネルギー種別月ごとの CO2 排出量の推移を右図に示す。

夏期及び冬季はエアコン等の使用による電力消費が多くなり、冬季には深夜電力と灯油の使用量が増加している。年間の CO2 排出量は 1 家庭あたり 2,966 [kg] である。

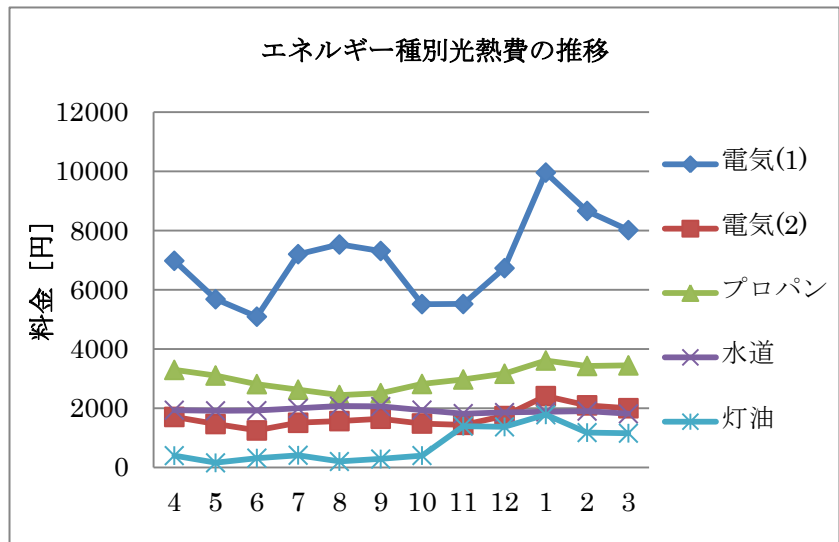
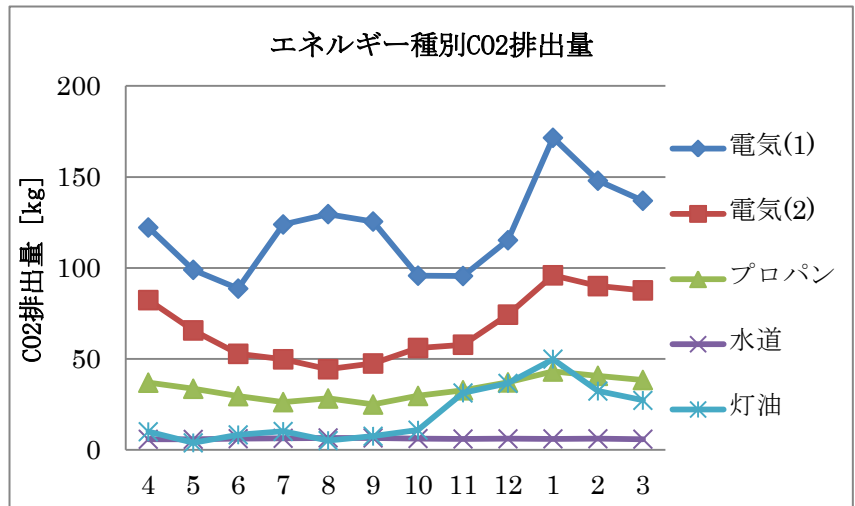
過去 2 年間の値が 3,238～3,236[kg] に比べて 8% 程減少している。(対象とするモニターが多少異なるから、一概に比較できない。)

また、モニター 1 人当たりの平均排出量は 1,090 [kg] となる。

モニターの殆どの方が光熱費も記入しているので、エネルギー種別光熱費について全家庭の平均値の推移を右図に示す。

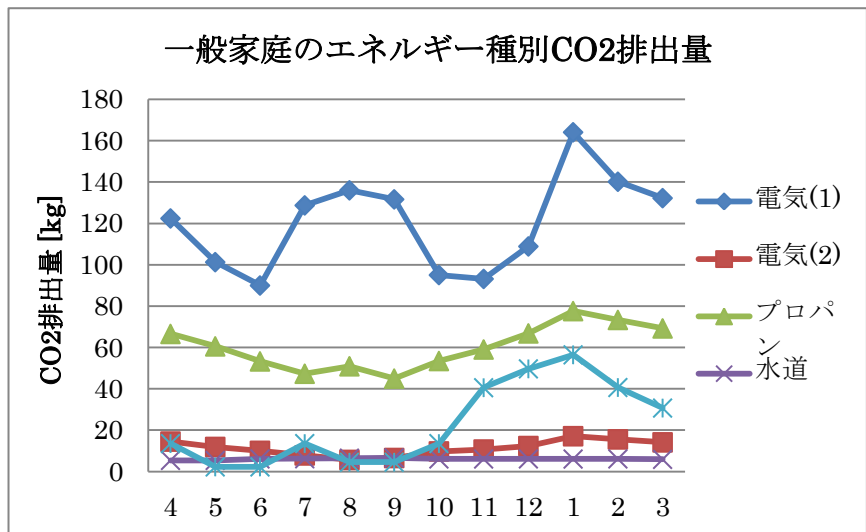
電気(1)(従量電灯)料金が占める割合が大きく、夏期及び冬季の冷房、暖房の使用により料金が增加している。冬季の灯油の使用は当然ながら、プロパンガスも暖房に使用されている模様である。電気(2)(深夜電力)は、当然のことではあるが、使用量に対して料金は安価であることが分かる。

なお、モニター全家庭平均の年間光熱費は 172,765 円である。



○一般家庭(オール電化でない家庭) (20 戸)の月別 CO2 排出量

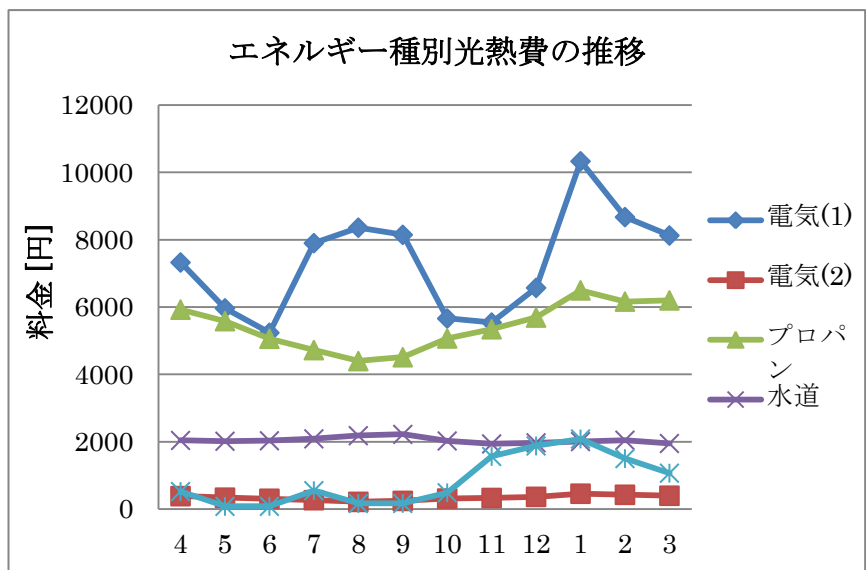
エネルギー種類別月ごとの CO2 排出量平均値を図. に示す。夏期及び冬季にはエアコン等の使用による電力消費が多くなり、冬季の灯油使用量が増加しているのは当然ながら、プロパンガスも暖房に使用されている模様である。また、年間の平均 CO2 排出量は 2,648[kg]である。



エネルギー種類別光熱費について全家庭の平均値の推移を右図に示す。電気(1)(従量電灯)料金が占める割合が大きく、夏期及び冬季の冷房、暖房の使用により料金が増加している。

また、プロパンガス料金が年間を通じて占める割合が大きい。

モニター全家庭平均の年間光熱費は 191,893 円である。

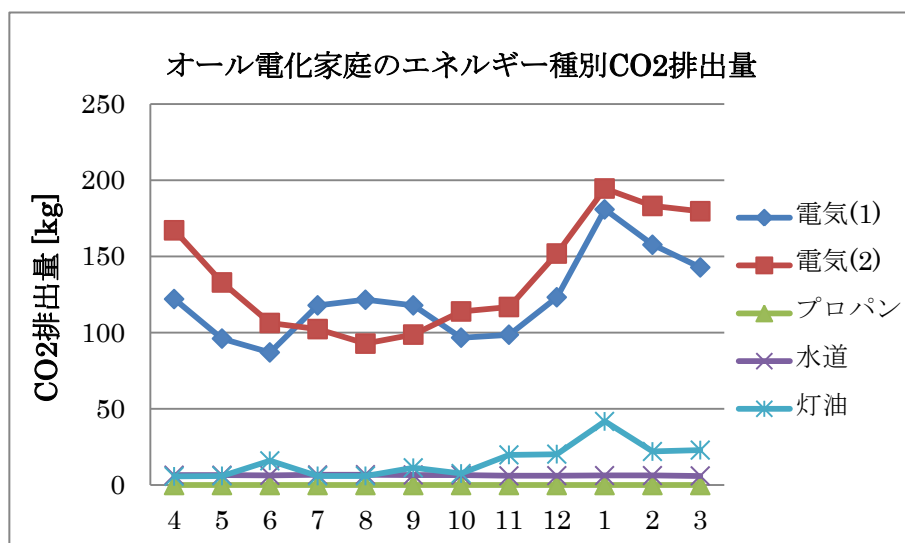


## ○オール電化家庭(17戸)の月別 CO2 排出量

エネルギー種別月ごとの CO2 排出量は図. のようになる。電気(1)(従量電灯)の使用量は若干少なく、当然ながら電気(2)(深夜電力)の使用量が著しく増加している。図中にプロパンガスが表示されているが、使用量は零である。

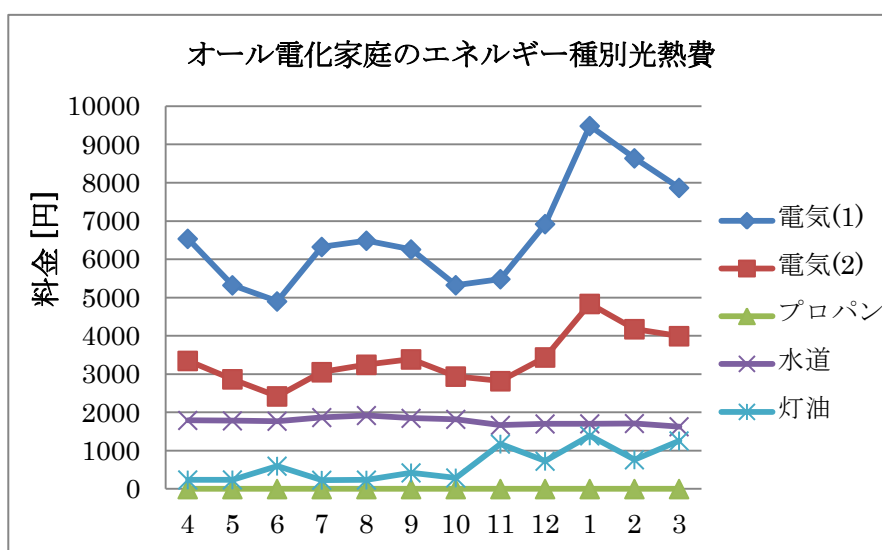
オール電化であることから、電力の使用が多く、

それによる CO2 の排出量が多いため、オール電化家庭の年間平均 CO2 排出量は 3,363 [kg]である。



オール電化全家庭の燃料費の平均値の推移を図. に示す。

深夜電力の使用が多いけれども、その電気料金が割安であるために、モニター全家庭平均の年間光熱費は 148,855 円と少なくなっている。



\*\* 原子力発電が止まっている現在、各年度の排出係数を確認して、再計算してみる必要がある。

本データは排出係数 0.38

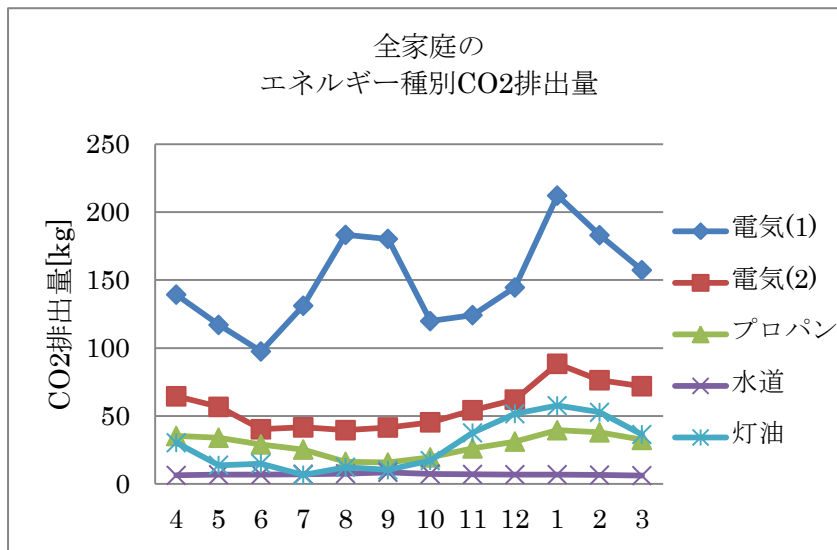
四国電力の現在の排出係数は、0.485 である。

## ◎ 過年度のデーター

### ○平成 22 年度の月別 CO2 排出量

22 年度の全モニター家庭 37 戸の平均 CO2 排出量は図. のようになる。21 年度と比較して夏季の電力使用の期間が長く  
使用量も多いが、暑かっ  
た気候との関わりが深い  
と思われる。

月平均 CO2 排出量は  
269.7 [kg]である。  
(年間 3,236[kg])



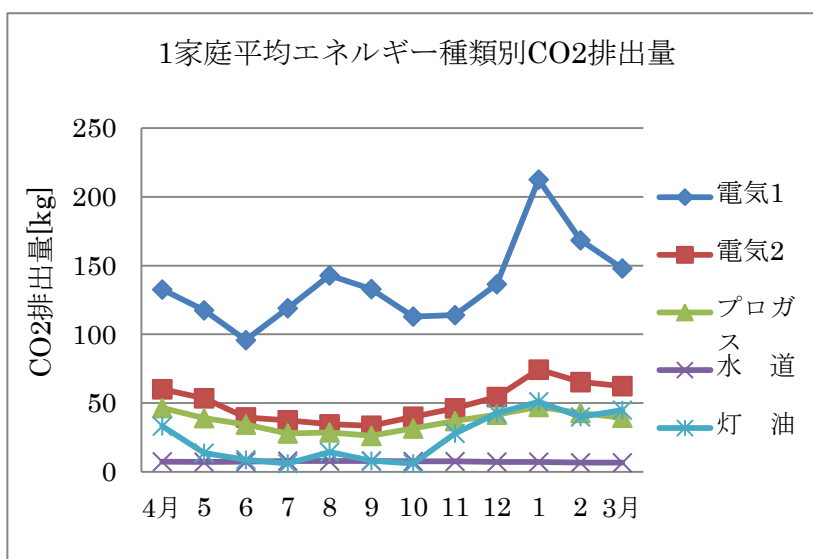
### ○平成 21 年度の月別 CO2 排出量

図. に平成 21 年度のモニター家庭(115 戸)の平均  
CO2 排出量を示す。

1家庭平均月当り CO2 排出  
量は 272.8[kg]である。

平成 22 年度のモニター家  
庭 (37 戸) の 排 出 量  
269.8[kg]と比較して、似通  
った値であると言える。

(年間 3,238[kg])



### ○モニター個別分析結果報告

本年度も、全モニターのご家庭に個別分析結果を報告した。